

令和5年度 神戸市災害時物資円滑供給検討会

第1回 検討会

資料1：令和5年度の検討目的及び取組方針

令和5年8月2日

# 1. 令和5年度の検討目的及び取組方針

## 1-1. 本検討会の目的・令和4年度成果の概略

### 【本検討会の目的】

○過去の災害時における教訓を踏まえ、大規模災害の発生時においても、被災者へ迅速かつ安定的に物資が供給できるように、**官民が連携・協働して取り組むべき課題について検討**し、具体的な取り組みを進めていくことを目的とする。

### 【令和4年度の検討成果の概略】

- ・令和3年度及び令和4年度訓練結果を受けた  
**マニュアルの改定や様式や防災アクションカードの使いやすさの向上**

# 1. 令和5年度の検討目的及び取組方針

## 1-2. 令和4年度マニュアルの改定内容

### (1) 「本体マニュアルの基本原則」の冒頭掲載

- ・ 本体マニュアルの基本原則を、ワンフレーズで理解できる形式の併記

**基本原則①：災害時に中心的に活用されるのは陸上の『集積・配送拠点』**  
→ **トラック輸送の代替輸送として海上・航空のルート活用**

**基本原則②：可能な限り早期に、陸上の『集積・配送拠点（民間施設）』の**  
**開設・運営**  
→ **民間施設での開設が困難である場合に、市有施設での開設・運営**

**基本原則③：官民それぞれの専門性に応じた役割分担**  
→ **市は物資情報の共有と物資の配分、配送先の決定が中心的役割**  
**民間は物資の受入や在庫管理、配送の実施が中心的役割**

# 1. 令和5年度の検討目的及び取組方針

## 1-2. 令和4年度マニュアルの改定内容

### (2) 集積・配送拠点（二次物資拠点）の確保の実施主体修正

- ・ 訓練シナリオ検討プロセスにおける整理に基づく、**実施主体の変更**

本体マニュアル『Ⅲ. 1. (2) ⑤集積・配送拠点（二次物資拠点）の確保』  
「集積・配送拠点としての使用可否、確認、施設の決定、施設管理者への連絡」

実施主体：市対策本部 → **実施主体：救援物資対策チーム**

### (3) 拠点運営事業者派遣時の必要最低限の資機材持参の加筆修正

本体マニュアル

『Ⅲ. 1 (2) ⑨集積・配送拠点(二次物資拠点)における拠点運営事業者の確保-ウ』

「拠点運営事業者は、市からの要請をうけ、

集積・配送拠点を差配する人員を集積・配送拠点へ派遣する」

→ **人員派遣だけでなく、必要と考えられる最低限の資機材の持参要請について加筆**

※正式な資機材要請は、『⑩集積・配送拠点（二次物資拠点）の設営』にて対応

# 1. 令和5年度の検討目的及び取組方針

## 1-2. 令和4年度マニュアルの改定内容

### (4) 拠点運営マニュアルで使用する用語の統一

- ・ 「かご車」、「ボックスパレット」 → 「かご台車」

### (5) 拠点運営担当職員派遣時の持参物の加筆修正

本体マニュアル『Ⅲ. 1. (2) ⑥拠点運営担当職員の配置』

「救援物資対策チームは、集積・配送拠点における拠点運営担当職員を決め、  
集積・配送拠点へ配置させる。」

→ 防災アクションカードや連携体制立ち上げ時に必要となる最低限の資機材を  
持参することについて加筆

# 1. 令和5年度の検討目的及び取組方針

## 1-2. 令和4年度マニュアルの改定内容

### (6) 地域防災計画の改定（予定）、国通知等に伴う修正

- ・ 令和4年度神戸市地域防災計画・水防計画改定に伴う用語定義に関連する修正

陸・海・空それぞれの「集積・配送拠点」の呼称を

「**陸上輸送の受入拠点**」「**海上輸送の受入拠点**」「**航空輸送の受入拠点**」に修正

また、「**陸上輸送の受入拠点**」を指して、「**集積・配送拠点**」と呼称

※本検討会議での各種訓練等の検証成果を踏まえ、物資受入れ後の物資の「仕分け、在庫管理、積込み及び配送機能まで」を担うことが可能な「**陸上輸送の受入拠点**」を指して、「**集積・配送拠点**」と呼称する。

- ・ 令和4年12月内閣府通知「大規模災害時のための毛布備蓄について」を踏まえた追記

上記通知に基づき、**避難所避難者1人当たり2枚の毛布が必要との前提で、各自治体で適切な備蓄に努めるとともに、近畿地方の受援府県の不足分は、東北地方の応援県からプッシュ型支援を受ける**フローが定められることとなったため、**本体マニュアルのフェーズ③第一期物流（プッシュ型）**時期に関する記述として追記する。



# 1. 令和5年度の検討目的及び取組方針

## 1-3. 令和5年度検討目的及び取組方針

### ● 過年度の訓練概要

#### ・ R2年度訓練 図上訓練

海のルート活用を盛り込むマニュアル改定を目的とし、海の集積・配送拠点開設・運営のケーススタディを実施

→訓練を踏まえ、海の集積・配送拠点の活用の困難さ、可能な限り早期の民間施設等を活用した、集積・配送拠点の開設・運営の重要性を認識

#### ・ R3年度訓練 図上訓練

過年度の課題を踏まえ、民間施設等を活用した集積・配送拠点の開設・運営の手順確認を目的とし、民間施設等を活用した集積・配送拠点の開設・運営に係る手順等を確認する図上訓練を実施

#### ・ R4年度訓練 実働訓練

過年度の課題、図上訓練を通じ、民間施設等を活用した集積・配送拠点の開設・運営の手順確認を目的とし、実際の民間施設等を活用した集積・配送拠点の開設・運営の実働訓練を実施

# 1. 令和5年度の検討目的及び取組方針

## 1-3. 令和5年度検討目的及び取組方針

### ● 令和5年度検討目的及び取組方針

- ・ 実際の民間施設等を活用した集積・配送、拠点の開設・運営に加え、海上輸送の受入や避難所・福祉避難所への配送等、複数拠点での実働訓練によるマニュアルの確認や定着を図るとともに、訓練で得られた課題等を踏まえ、マニュアルの充実化・活用性の向上を行う事を令和5年度目標とする。

※過年度の訓練を踏まえ、海上輸送の受入拠点は「海上輸送による救援物資の受入」と「トラック輸送による救援物資の集積・配送拠点への配送」を実施することをマニュアルに整理している。R2年度ケーススタディで実施した、海の拠点での、物資の集積・配送拠点の役割は担わないこととなっている。

- ・ 訓練については以下を目的とし実施する。
  - ① 実際の民間施設等を活用した集積・配送拠点の開設・運営の調整を行う際の、関係主体の役割分担・手順（官民連携、民民連携）、情報伝達内容・手段、民間施設内での災害時物資受入れ・配送体制の確認及び課題検証
  - ② 海上輸送の受入拠点における関係主体の役割分担・手順・情報伝達内容・手段の確認及び課題検証
  - ③ 複数拠点間の連携と本部での状況把握・コントロールの確認・検証

## 2. 検討会

### 2-1. 検討会、訓練のスケジュール・開催方法

#### 【令和5年度の検討スケジュールと検討事項】

回	時期・場所	検討概要
事務局 調整作業		<ul style="list-style-type: none"><li>・ 令和4年度検討成果の整理</li><li>・ 実働訓練の計画概要の検討</li><li>・ 関係主体への事前ヒアリング調査、現地視察の実施</li></ul>
第1回 検討会	8月2日 参集・Web開催 三宮研修センター	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 令和5年度の検討目的及び取組方針</li><li>・ 神戸市災害時物資供給実働訓練 企画概要</li></ul>
実働訓練	10月5日 参集訓練	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 会場参集による実地訓練</li><li>・ 振り返りミーティング、課題検証アンケートの実施</li></ul>
事務局 調整作業		<ul style="list-style-type: none"><li>・ 実地訓練の成果・課題のとりまとめ</li><li>・ マニュアル改定作業</li></ul>
第2回 検討会	年内又は年明け頃 書面開催 (※必要に応じて 参集開催を検討)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 実地訓練の成果・課題のとりまとめ結果報告</li><li>・ マニュアル改定(案)の提示</li></ul>